②　使用しなくなる日
使用停止日は決定しておりません。
③　使用しないという決定を行った経緯及び理由
重点化された研究開発業務を効率的かつ効果的に実施するため、行政刷新会議の「講ずべき措置」及び政独委の「勧告の方向性」等を踏まえつつ策定された第３期中期計画に基づき第３期中期計画期間中の八雲さけます事業所の組織的な統合が明記され、平成27年３月末をもって当該施設の業務が終了し平成27年４月以降閉鎖に向けた手続きを進めることとしたため。
④　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

資　産　名	帳簿価額（円）	回収可能サービス価額(見込額)（円）	減損額(見込額)（円）
北海道区水産研究所八雲さけます事業所　土地	23,000,000	17,650,000	5,350,000
庁舎、年齢組成解析室及び渡り廊下外18件	26,259,668	19	26,259,649
屋外排水設備外４件	11,963	5	11,958

２）瀬戸内海区水産研究所玉野庁舎
①　使用しないという決定を行った固定資産の種類、場所、帳簿価額等の概要

資　産　名	種　類	場　所	帳簿価額（円）
瀬戸内海区水産研究所玉野庁舎　土地外１件	土地	岡山県玉野市	596,800,000
庁舎外109件	建物		47,676,908
樹木外60件	構築物		17,638,909
電力線路外20件	機械及び装置		1,880,826

②　使用しなくなる日
使用停止日は決定しておりません。
③　使用しないという決定を行った経緯及び理由
重点化された研究開発業務を効率的かつ効果的に実施するため、行政刷新会議の「講ずべき措置」及び政独委の「勧告の方向性」等を踏まえつつ策定された第３期中期計画に基づき第３期中期計画期間中の玉野庁舎の組織的な統合が明記され、平成27年３月末をもって当該施設の業務が終了し平成27年４月以降閉鎖に向けた手続きを進めることとしたため。
④　将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損額の見込額

資　産　名	帳簿価額（円）	回収可能サービス価額(見込額)（円）	減損額(見込額)（円）
瀬戸内海区水産研究所玉野庁舎　土地外１件	596,800,000	26,070,000	570,730,000
庁舎外109件	47,676,908	110	47,676,798
樹木外60件	17,638,909	61	17,638,848
電力線路外20件	1,880,826	21	1,880,805

［キャッシュ・フロー計算書関係］
１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金預金勘定	3,511,774,275円
資金期末残高	3,511,774,275円

２．重要な非資金取引

①　寄附による資産の取得	12,987,845円
②　固定資産の除却	28,929,048円

［行政サービス実施コスト計算書関係］
引当外退職給付増加見積額のうち、21,291,652円については国及び地方公共団体からの出向職員に係るものであります。
［重要な債務負担行為］
該当する事項はありません。
［重要な後発事象］
該当する事項はありません。
［行政サービス実施コストに準ずる費用関係］
独立行政法人会計基準第24の項目には該当しないが、行政サービス実施コストに準ずる費用は次のとおりであります。

筑波共同利用施設から提供を受けている受益の費用	34,987,517円

［金融商品の時価等に関する注記］
１．金融商品の状況に関する事項
資金運用については短期的な預金及び公社債等に限定しております。
また、投資有価証券は、独立行政法人通則法第47条の規定等に基づき、公債のみを保有しており株式等は保有しておりません。
２．金融商品の時価等に関する事項
期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

	貸借対照表計上額	時　価	差　額
⑴現金及び預金	3,511,774,275	3,511,774,275	—
⑵未収金	1,991,519,547	1,991,519,547	—
⑶有価証券及び投資有価証券	1,013,251,044	1,015,544,950	2,293,906
満期保有目的債券	1,013,251,044	1,015,544,950	2,293,906
⑷未払金	(2,606,414,290)	(2,606,414,290)	—
⑸設備関係未払金	(133,733,891)	(133,733,891)	—

(注)　負債に計上されているものは、(　) で示しております。
（注１）　金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項
⑴　現金及び預金、⑵　未収金
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。
⑶　有価証券及び投資有価証券
これらの時価について、債券は取引金融機関から提示された価格によっております。
⑷　未払金、⑸　設備関係未払金
これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。